

令和6年度事業報告書
令和6年4月1日から7年3月31日まで

特定非営利活動法人ピアサポートつむぎ

1 事業の成果

県民活動活性化センター「てとり」に伴走支援をしていただきながら休眠預金活用補助金を活用して生まれた当法人は、令和5年度に休眠事業を無事終え、創立3年目となる令和6年度は、自力での一步を歩み始めました。

自主財源としては、みなさまの会費やご寄付があります。

鳥取県のふるさと納税として「ギフ鳥」による活動応援の寄付金をいただいています。また、中国労働金庫の「中国ろうきんNPO寄付システム」、生命保険協会の寄付金もありました。それらを活用して、前年度よりも活動の内容を深めることができたと感じています。

他に、居場所の活動を充実させるため、毎年何かの補助金や助成金を申請しています。令和6年度には、内閣府孤独孤立対策事業の「地域における孤独・孤立対策に関するNPO等の取組モデル調査」で「周囲の大人に理解され受け入れられる実感を生きる力に変える事業」が、鳥取県社会福祉協議会の「令和6年度先駆的・開拓的ボランティア活動助成事業」で「生きづらさを抱える子どもや若者が自らの食事を作り、生きる力を育む事業」が採択され、調理器具が充実しました。また、NHK厚生文化事業団の「NHKわかば基金」で「外に出る事が難しい当事者が自身のタイミングで安心して外に出られるきっかけとなるウッドデッキの設置」が採択され、ウッドデッキの外形は業者さんに依頼し、ペンキ塗りはみなさんのボランティアで取り組み完成しました。天気の良い日はウッドデッキでお茶をしたりハンモックに揺られてまったりと過ごしたりすることができるようになりました。

また、組織としての評価である「ベーシックガバナンスチェック」で、「すべての項目で基準を満たしている」と評価されました。

表彰では、令和6年度ミラ・クル・とっとり運動・SDGs活動表彰において「周囲の大人に理解され受け入れられる実感を生きる力に変える事業」があいおいニッセイ損保賞を受賞し、日々の活動の励みとなりました。

居場所については、スタッフは生計を立てるための本業があり、あいにく現在でもいつでも受け入れられる体制にはまだなっていませんが、火曜日は主に個別の学習支援、木曜日は個別の相談支援、土日はヨッシークラブ、オクееクラブ、つむぎカフェなどの活動日を設け、継続的な活動を維持することができました。令和7年度もそのような形になると思いますが、スタッフや会員の皆様の負担にならないよう、みんなアイデアを出し合って進めていきたいと考えています。

近年、社会的にピアサポートの重要性が理解され、各地でピアサポーター研修なども開催されるようになりました。ピアサポートつむぎは、設立当初からピアサポートとしての性質を特徴として活動をしてきており、前身の「保護者のピアサポートの会」

や「虹の会」の創立から数えると、17年の経験があります。また、親御さんの子育ての経験から言うと、10年、20年、30年、40年を超える方もいらっしゃると思います。そんなみなさんの経験が、今、発達障害や不登校や引きこもりなどで悩んでいらっしゃる親御さんの思いに寄り添うことができる源となっていると考えています。発達障害や不登校、引きこもりに関して、今悩んでおられる方の気持ちを理解し受け止めること、これはやはり、今まで色々な経験を重ねて来られた皆さんにできる1番の役割ではないかと思います。それと合わせて、小林先生、菰田先生、井上先生、嘉手苺先生、武田先生などの大学の先生方や、精神保健福祉センターの原田先生のご協力もあり、心強いところです。

何も「これこそ!」というような解決策を考えなくてもいいし、素敵な言葉を探さなくてもいいのです。皆さんもこれまでに、分かってくれる人がただそこにいて、ウンウンと頷いたり「大変だったね」と労ったり、そばにいてくれるだけでもホッとした経験をお持ちではないでしょうか。今度は私たち自身が、そうすることができたら嬉しいですし、法人としてもそのような場が生まれるよう工夫をしていきます。

地域では、倉吉市社会福祉協議会のあんしん課を中心に、「若者支援の会」も結成され、中部地区で活動している事業所スタッフ間の連携を取るようになりました。

令和6年度の事業では、祖父母のための勉強会、父親のための勉強会、本人のための勉強会が新たに加われました。この事業を行った半年間に、多くの家庭で改善が見られ、継続の声も上がりました。そのため、これらの事業は、委託事業終了後も継続して行っています。

また、「ペアレントトレーニング思春期編」「ペアレントトレーニング幼児・低学年編」「親子で学ぶアンガーマネジメント講座」「ストレスマネジメント講座」なども継続して実施することができました。

生きる力を育てる事業であるヨッシークラブとオッケークラブ、その中での「ちくちくの会」「折り紙リースの会」「調理の会」も、定番となってきています。

また、理解啓発としては、令和6年度に外部機関や事業で話を聞いていただく機会がありました。

令和6年11月28日 … 大山町「あさひの会」公開講座（大山福祉センター）

令和6年11月28日 … 大山町要保護児童対策地域協議会実務者研修会
（大山福祉センター）

令和7年2月16日 … 重層的支援体制整備事業参加型支援モデル事業
「居い場所田園」「こころの居場所づくり」
（米子ふれあいの里）

令和7年2月23日 … 鳥取県福祉研究学会シンポジウムパネリスト
（鳥取看護大学シグナスホール）

令和7年3月8日 … 生活支援研修会中部地区 大人援助研修事業・応用研修
（倉吉交流プラザ）

など、多くの方に話を聞いていただきました。

他にも、内閣府の委託事業では、中間報告会、最終報告会があり、全国の皆様に成果発表をしました。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (千円)
居場所の運営事業	拠点つむぎの整備、つむぎカフェの開催	通年で 77回	つむぎ	4人	不登校・ひきこもり・発達腫外の当事者と家族、ボランティアのべ 223人	3080
相談事業	依頼者に寄り添って相談に応じる	通年で 73回	つむぎ	4人	不登校・ひきこもり・発達腫外の当事者と家族、ボランティアのべ 135人	
学習支援事業	個別ニーズに合わせた学びの支援	通年で 68回	つむぎ	5人	不登校・ひきこもり・発達腫外の当事者と家族、ボランティアのべ 83人	
就業支援事業	生きる力につながるイベントの開催	通年で 34回	つむぎ	10人	不登校・ひきこもり・発達腫外の当事者と家族、ボランティアのべ 233人	
人材育成事業	スタッフや保護者のスキルアップ研修	通年で 1回	つむぎ	4人	スタッフ・保護者 11人	0
理解促進及び啓発事業	本人や家族、地域・企業に向けた理解啓発活動	通年で 33回	つむぎ、県内の講演会場	2人	社会教育、人権教育、福祉関係者のべ 676人	0
調査及び提言事業	利用者アンケート、スタッフの聞き取り、他団体との連携	通年で 11回	つむぎ	4人	利用者、スタッフ、行政や福祉団体関係者のべ 37人	0

(2) その他の事業

その他の事業の実施は実施していない。

(備考)

- 1 2の(1)については、事業毎に事業名、事業内容、実施日時、実施場所、従事者の人数、受益対象者の範囲及び人数並びに支出額をそれぞれ記載する。
- 2 2の(1)のうち、「受益対象者の範囲及び人数」の欄には、具体的な受益対象者及び人数を記載する。
- 3 2の(2)については、事業毎に事業名、事業内容、実施日時、実施場所、従事者の人数及び支出額をそれぞれ記載する。
- 4 2の(2)については、定款上「その他の事業」に関する事項を定めている場合は、当該事業年度に実施しなかった場合も「実施しなかった」旨を記載する。

令和6年度 活動計算書
令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
特定非営利活動法人 ピアサポートつむぎ
(単位: 円)

科目	金額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	162,000	162,000	✓
2. 受取寄附金			
受取寄附金	215,722	215,722	✓
3. 受取助成金等			
受取助成金	755,000		
受取補助金	1,687,151	2,442,151	✓
4. 事業収益			
相談事業収益	0		
理解促進及び啓発事業収益	18,000		
学習支援事業収入	132,500	150,500	✓
5. その他収益			
受取利息	337		
雑収益	37,671	38,008	✓
経常収益計			3,008,381 ✓
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	1,565,835		
法定福利費			
福利厚生費			
人件費計	1,565,835	1,565,835	✓
(2) その他経費			
諸謝金	177,728		
印刷製本費	7,280		
会議費	27,021		
通信運搬費	4,400		
消耗品費	190,756		
材料費	15,964		
水道光熱費	135,830		
減価償却費	955,289		
その他経費計	1,514,268		
事業費計		3,080,103	✓
2. 管理費			
(1) 人件費			
給料手当			
福利厚生費			
人件費計	0		
(2) その他経費			
通信運搬費	160		
消耗品費	21,195		
水道光熱費	15,092		
減価償却費	106,143		
租税公課	39,300		
支払手数料	3,685		
その他経費計	185,575		
管理費計		185,575	✓
経常費用計			3,265,678 ✓
当期経常増減額			△ 257,297 ✓
III 経常外収益			
経常外収益計			
IV 経常外費用			
過年度損益修正損	△ 4,117		
経常外費用計	△ 4,117		△ 4,117 ✓
税引前当期正味財産増減額			△ 261,414 ✓
法人税、住民税及び事業税			0
当期正味財産増減額			△ 261,414 ✓
前期繰越正味財産額			2,502,762 ✓
次期繰越正味財産額			2,241,348 ✓

令和6年度 貸借対照表

令和7年3月31日現在

特定非営利活動法人 ピアサポートつむぎ

(単位:円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	558,878		
未収金	1,689,499		
流動資産合計		2,248,377	/
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
建物	825,000		
構築物	491,082		
什器備品	439,490		
有形固定資産計	1,755,572		
(2) 無形固定資産			
無形固定資産計	0		
(3) 投資その他の資産			
投資その他の資産計	0		
固定資産合計		1,755,572	/
資産合計			4,003,949 /
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,592,601		
流動負債合計		1,592,601	/
2. 固定負債			
長期借入金	170,000		
固定負債合計		170,000	/
負債合計			1,762,601 /
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		2,502,762	/
当期正味財産増減額		△ 261,414	/
正味財産合計			2,241,348 /
負債及び正味財産合計			4,003,949 /

令和6年度 財産目録

令和7年3月31日現在

特定非営利活動法人 ビアサポートつむぎ

(単位:円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金	0		
鳥取銀行普通預金	558,878		
未収金			
源泉所得税誤納付還付	2,348		
内閣府委託事業補助金	1,687,151		
流動資産合計		2,248,377	/
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
建物	825,000		
構築物			
ウッドデッキ	491,082		
什器備品			
エアコン1階	46,847		
エアコン2階	49,497		
エアコン取付工事	62,608		
エアコン2階相談室	88,840		
エアコン2階電気工事	191,698		
有形固定資産計	1,755,572		
(2) 無形固定資産			
無形固定資産計	0		
(3) 投資その他の資産			
投資その他の資産計	0		
固定資産合計		1,755,572	/
資産合計			4,003,949 /
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金			
給与	1,565,835		
住友VISAカード 2,3月利用分	26,766		
流動負債合計		1,592,601	/
2. 固定負債			
長期借入金			
市川義章	170,000		
固定負債合計		170,000	/
負債合計			1,762,601
正味財産			2,241,348 /

計算書類の注記
令和6年度

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2011年11月20日 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

該当なし

(2) 固定資産の減価償却の方法

- 有形固定資産 定率法又は旧定率法を採用しています。
ただし、平成19年4月1日以後に取得した建物(付属設備を除く)については定額法、平成28年4月1日以後に取得した建物付属設備及び構築物については定額法を採用しております。

(3) 引当金の会計基準

該当なし

(4) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理

該当なし

(5) ボランティアによる役務の提供

該当なし

(6) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 会計方針の変更

該当なし

3. 事業別損益の状況

(単位：円)

科目	発達、不登校 支援事業	学習支援事業	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益					
1 受取会費					
正会員受取会費	162,000		162,000		162,000
2 受取寄附金					
受取寄附金	172,564	14,386	186,950	28,772	215,722
3 受取助成金等	755,000		755,000		755,000
4 受取補助金等	1,687,151		1,687,151		1,687,151
5 事業収益	18,000	132,500	150,500		150,500
6 その他収益	37,671		37,671	337	38,008
経常収益計	2,832,386	146,886	2,979,272	29,109	3,008,381
II 経常費用					
(1) 人件費					
給料手当	1,565,835		1,565,835		1,565,835
法定福利費					0
福利厚生費					0
人件費計	1,565,835	0	1,565,835	0	1,565,835
(2) その他経費					
諸謝金	177,728		177,728		177,728
印刷製本費	7,280		7,280		7,280
会議費	27,021		27,021		27,021
通信運搬費	4,400		4,400	160	4,560
消耗品費	180,158	10,598	190,756	21,195	211,951
材料費	15,964		15,964		15,964
水道光熱費	135,830		135,830	15,092	150,922
減価償却費	902,217	53,072	955,289	106,143	1,061,432
租税公課				39,300	39,300
支払手数料				3,685	3,685
その他経費計	1,450,598	63,670	1,514,268	185,575	1,699,843
経常費用計	3,016,433	63,670	3,080,103	185,575	3,265,678
過年度損益修正損				4,117	4,117
経常外費用計	0	0	0	4,117	4,117
当期経常増減額	△ 184,047	83,216	△ 100,831	△ 160,583	△ 261,414

4. 使途等が制約された寄附金等の内訳

(単位：円)

内容	期首残高	増加額	減少額	期末残高	備考
NHKわかば基金		500,000	500,000	0	ウッドデッキ設置
鳥取県社会福祉協議会		180,000	180,000	0	料理器具購入
内閣府		1,687,151	1,687,151	0	周囲の大人に理解され受け入れられる実感を生きる力に変える事業
ギフ鳥	114,036	72,000	23,464	162,572	理解啓発活動

5. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
建物	1,650,000		825,000		2,475,000	825,000
構築物						0
什器備品	658,901		219,411		488,920	439,490
合計	2,308,901	0	1,044,411	0	2,963,920	1,264,490

6. 借入金の増減内訳

(単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
長期借入金	350,000		180,000	170,000
合計	350,000	0	180,000	170,000

7. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

・事業費と管理費の按分方法

各事業の経費及び事業費と管理費に共通する経費については、使用割合に基づき按分しています。

・重要な後発事象

該当なし

前事業年度の年間役員名簿

特定非営利活動法人ピアサポートつむぎ

役 名	氏 名	住 所 又 は 居 所	就 任 期 間	報酬を 受けた 期 間
理事 (理事長)	河本 純子 かわもと じゅんこ		令和6年7月1日～ 令和8年6月30日	無
理事 (副理事長)	遠藤 明子 えんどう あきこ		令和6年7月1日～ 令和8年6月30日	無
理事 (事務局長)	松田 麻希子 まつだ まきこ		令和6年7月1日～ 令和8年6月30日	無
理事	竹内 瑞貴 たけうち みずき		令和6年7月1日～ 令和8年6月30日	無
監事	山本 登 やまもと のぼる		令和6年7月1日～ 令和8年6月30日	無

(備考)

- 1 「役名」の欄には、理事、監事の別を記載する。
- 2 「住所又は居所」の欄には、鳥取県特定非営利活動促進法施行条例第3条第1項に掲げる書面によって証された住所又は居所を記載する。
- 3 「就任期間」の欄には、左に記載された役員全員について記載し、「報酬を受けた期間」の欄については、報酬を受けたことがある役員のみについて記載する。